

新型コロナ感染症担当理事会

主に10月1日からの扱いの変更について福岡県担当者からの説明でした。

入院について

軽症・中等症Ⅰについては確保病床は終了、「幅広い医療機関で対応を」という
いわゆる「もう制限は設けません」の状態になります。

中等症Ⅱ・重症についてのみ確保病床を残し2024年4月に終了とする。

ただし、流行がないときの段階0については確保病床は0とする。

流行が見られたときにフェーズを上げ確保病床を段階的に増やす。

外来について

5類になってから外来対応医療機関は逆に増えている。現在の体制を維持して
行っていただきたい。

保険点数について

いくつかの項目で下がっているものがあるため各医療機関で確認をお願いします。

治療薬の公費負担について

治療薬の公費負担は一律患者負担は1割3000円、2割6000円、3割9000円になりその残りを全て公費負担とする。